



あなたの川 未来の川づくりを想ひます

頂いたご意見をもとに計画しています。

●治水対策

白川市の市街部下流域においての将来計画は、昭和28年8月26日の洪水と同程度の洪水を安全に流すことを目標にしていますが、一度に将来計画に対応するには莫大な事業費と時間を要します。そこで将来計画に向けて段階的に整備を進め、今後20~30年の整備目標として近年発生した昭和55年8月、平成2年7月の洪水と同程度の洪水を安全に流すことを目標としています。また、上流黒川での遊水地による洪水調節効果に合せて、白川と黒川合流地点では、立野ダムにより下流における洪水ピーク流量を低減します。中流域は、市街部・下流域の低下能力に合せて氾濫を起さないように川を整備しながら流域全体を洪水から守る計画です。



●親しみのある川づくり
水辺に近づける工夫、川面で遊べるような整備を地域住民や自治体等と調整を図りながら取り組みます。

●河川環境と利活用

白川は、熊本市の発展と共に治水対策の重要性が増し、整備が進んでいますが、川本来の自然空間が減少する同時に、人々が白川に親しむ習慣も少なくなり、人々の意識から川が遠くなりつつあります。一方で白川流域に残された阿蘇や中流域の自然、熊本市街部の樹木による景観に対して住民の感心の高まりも見られます。したがって、今後の整備では治水と環境の調和を前提に、河川環境の整備と保全、白川特有の景観の保全と創造、人と白川とのつながりの回復、また健全な水利用と水環境を目指していきます。

●自然の残る生きる川づくり
洞内や林立群、植生群を保全します。

●利活用施設の整備
自治体と調整しながら散歩道、サイクリングロードを整備します。



遊びで学ぶ。平成の寺子屋
白川流域住民交流センター
白川わくわくランド



白川の歴史や役割、川のしきみなどを楽しましながら学ぶとともに、環境問題等に取り組まれる市民団体、小中学生の活躍の場として活用されています。

●みんなが集まる場所に
子飼橋をよく通るがそこから見る白川が大好きだ。福岡出身だがこっちへきて川が身近に感じられるようになった。

●自然や生物に配慮した整備を
白川の歴史や役割、川のしきみなどを楽しまながら学ぶとともに、環境問題等に取り組まれる市民団体、小中学生の活躍の場として活用されています。

●静田公園を残してほしい
藤崎宮近くの静田公園廃止に大反対だ。普段で作った公園を絶対に残すべきだ。

●住民の声

●自然や生物に配慮した整備を
小中学生時代に黒髪で釣りをしたことが懐かしく、魚の釣れる川に戻してほしい。

●安全に遊べる場の整備を
JR白川橋梁から薄場橋までの堤防が雑草がおおわれ、夜は女性の一人歩きなどとても危険、いつもすっきりと整備してほしい。

●住民の声

●広い年齢層や障害者にも利用できるような整備を
八ヶ橋では子どもの草スキーやサッカーの練習など一年を通じて老若男女で賑わっている。子どもやお年寄りのために木陰となる木を植えてほしい。

●住民の声

●みんなが集まる場所に
八ヶ橋の下でジョギングをしていたが、何の手入れもないようだ。桜やツツジ、竹などを植え木陰を作り、散歩の時も休憩所があればいいと思う。

●住民の声

●堤防を整備してほしい
JR白川橋梁の両岸は雑草とゴミで大変荒廃している。なぜここだけ河川工事ができないのか?

●住民の声

●川を整備してほしい
泥土が溜まって夏は臭い。浚渫できないか。(小島橋一八ヶ橋)

●住民の声

●自然や生物に配慮した整備を
新しい堤防ができるで自然の景観が変わらぬを心配している。

●住民の声

●自然を回復してほしい
実家が白川河口(沖新町)で、以前から白川には親しんできた。小学生の時はシミズが採れたり、父は川で遊びをしてきた。企業が砂を掘り出すようになってからは危ないので近づかないように言われる。

●住民の声

●自然を回復してほしい
水鳥による河口の生態系を保護するためには、堤防を高くする必要があります。

●治水対策

河口部より1.0Km付近
高潮対策

河口部は、台風による高潮被害をおさえるために、堤防を高くする必要があります。

●治水対策

河口部より0.0Km付近
多目的広場

現在ある川幅はせまくて、洪水を安全に流すことができません。現在の堤防を撤去して、新しい堤防を造ることで川幅を広げます。

●治水対策

河口部より13.2Km付近
洪水対策

目標とする洪水流量を安全に流すため堤防の高さが不足するところや、新たに堤防が必要なところの対策を行います。これに合わせて橋脚の改修、新設および橋梁の改築を行います。

●住民の声

●みんなが集まる場所に
子飼橋付近の河川敷に街灯が欲しい。車で川辺まで降りれるところを作ってほしい。

●住民の声

●広い年齢層や障害者にも配慮して
大江学園通りを瀬地帝鳳に作ってほしい。孫達と遊べるように。

●住民の声

●鳥の都標本のイメージ
市内中心の大甲橋の桜並木はそのままの状況で残してほしい。

●環境教育、情操教育の場に
代耕橋の架け替えに際し、福岡市那珂川にあるような橋上公園を作り、付近に白川に関する資料館を作ってほしい。

●住民の声

●自然や生物に配慮した整備を望む
三本松原に魚道を作て稚魚が上流に登れるように改修してほしい。夜、薄場橋を通るに悪影響がある時がある。近くの浄化センターと関係は?

●住民の声

●樹木を残して、樹木を増やして。
川の動植物にも木陰が必要。薄場橋から下流の工事により樹木がなくなり渡り鳥などなくなってしまったのが残念です。早く昔のように樹木を植樹してほしい。

●歴史的景観の保全
加藤満正公時代から築造された石垣護岸など、歴史的に価値のある遺産はできるだけ保存し、川づくりに活かしていきます。